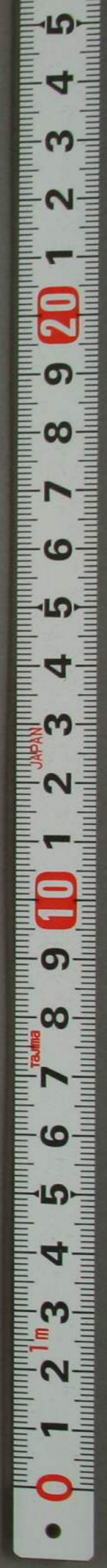




徳川御用



特別
子12
3643
13 (5)





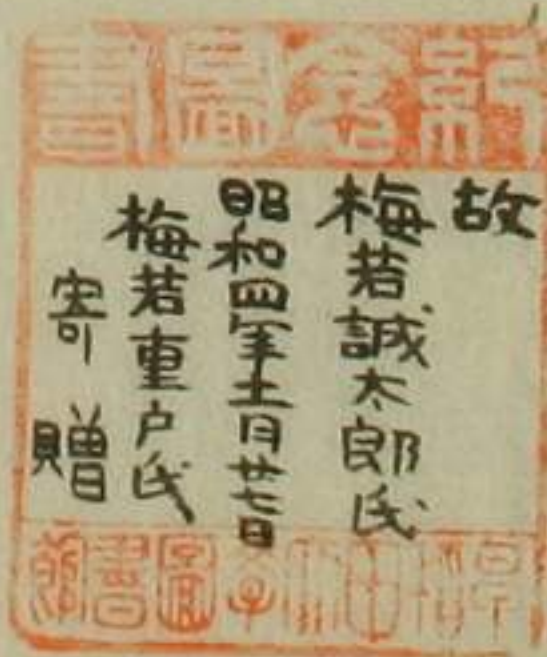
甲子

寒重荷

化り物也

柳是白河院小住奉就下也極と我君
 菊と沙籠愛あわも毎年あまもは菊法
 植ととてらよひ又美よ山科乃菘司と
 賤き者の依ははと菊の下系とととせ死
 まし間や付もやや存作もと承りつ彼者
 い成打ぶる春も女御と河邊法禪とり。

1000



迷ふらん 恋の重荷
実持ぬる 花の形 是れは 恋の重荷
言はば 恋の深き 恋の重荷
まはらば 恋の重荷
身も 恋の重荷
あはれ 恋の重荷
かたは 恋の重荷

の重荷と持らん 恋の重荷
一唐酒の 恋の重荷
有る 恋の重荷
まはらば 恋の重荷
あはれ 恋の重荷
かたは 恋の重荷

